

第23回石川建築賞 受賞作品

優秀賞 S-House (4 Screens)

設計者：一級建築士事務所 SCAPE

施工者：真柄建設(株)北陸支店



透明、半透明、不透明な矩形パネルで構成された四枚の平行な壁による空間。その壁に による設備空間と居住空間の明確な分節を創るためのコンクリートおよび鉄骨造の混構造手法、またそのディテールに優れている。

優秀賞 前川邸

設計者：吉島衛建築研究室

施工者：(有)ソリッドデザイン



中庭を巡って回廊状に諸室を配置したコート・ハウス形式だが、庭の形状を不整形七角形にすることで、単調で狭隘感を与えがちなこの形式に、変化のある空間を与えている。また居室の機能に応じた適切な材質の選択とディテールの造形が行き届いている。

優 秀 賞 ののいち歯科

設計者：谷重義行+建築像景研究室、金沢設計

施工者：(株)松本工務店



表通りから3.5mセットバックして、植栽のあるポケットパーク的な魅力的な空気を設け、通りの歩行者空間に大きな寄与をした。屋根を寄棟として軒の線など水平線を強調する造形で、道路からの視線に快い景観を創っている。

既存の古い庭を残し、待合室、診察室の患者側から望める様にして、和みを与える診察空間を創っている。

特 別 賞 (歴史的景観に対する貢献)

菱櫓、五十間長屋、橋爪門続櫓、橋爪一の門

設計者：(有)建築文化研究所谷重義行+建築像景研究室、金沢設計

施工者：〔菱櫓〕松井・城東特定建設工事共同企業体

〔橋爪門続櫓等〕大林・真柄・松浦特定建設工事共同企業体

〔橋詰一の門等〕北国建設(株)



可能な限りの歴史的考証に基づき、可能な限り正確に金沢城の一部の再建を行って、城址の歴史的景観の復元に大きく寄与した。また城郭建築における石工、大工、左官、錆などの伝統技術を結集、再現して用いてその保存、継承にも貢献した。耐震基準、消防基準等を満足する現代的防災設備も完備しつつ大規模伝統建築を実現した。

入 選 宗教法人 愛染寺

設計者：(株)ザ・スタジオ一級建築士事務所 施工者：西松建設(株)中部支店



伝統的様式を用いず現代のデザインで仏寺を設計し優れた造形を生み出した。杉板貼の円筒を二個接合して並べた 護摩堂、背後の伝統様式の既存本堂、それらを調和させるために中間に置いた黒い方形のギャラリーというシークエンスの造形が成功している。護摩堂のインテリアも新しい仏寺宗教空間の可能性のひとつを提示したものである。

入 選 やわたメディカルセンター

設計者：清水建設(株)一級建築士事務所 施工者：清水建設(株)北陸支店



様々の特化した機能空間の複雑な集合体である病院において、それらを適切に分離・結合しつつ統合した配置計画、動線計画に優れている。低層外来部ではトップライトを持つ吹き抜け空間により開放的な雰囲気を与えている。全体にわたって明るい色彩計画と質の良いデザインの家具の採用、また庭園の造形などで親しみ深い病院空間を創っている。

入 選 白帆台ニュータウン

設計者：坂本英之+(有)小林吉則建築計画室 施工者：(株)橋本工建



居間をウッドデッキによって前面道路の歩道空間へ向けて開かれた空間とすることで新造住宅団地におけるコミュニティ創生を試みた住宅である。伝統的町屋のトオリニワ空間を採用し、住宅内部と外部のコミュニティ空間との連続性を持たせている。自治体の供給する建て売り住宅に新しい概念を生み出している。

入 選 サイエンス館 ニューハウス工業石川工場管理棟

設計者：水野一郎 + (株)金沢計画研究所 施工者：ニューハウス工業(株)金沢支店



集成材で架構した片流れ屋根のそのままでは変哲のない単純な大空間を、屋根を南北方向にむくらせることと、正面に斜めに張り出させ北妻も斜めに掛けることで、屋根外観に球面の様な印象を与えて、ユニークな外観に見せている。ポーチ・コロネードの在来軸組構造的デザインが、この建築が木造であることを宣言している。

入 選 国民宿舎能登小牧台

設計者：(株)エヌ・ティ・ティファシリティーズ 一級建築士事務所北陸支店

施工者：清水建設(株)北陸支店



鋭角の大きな切り妻の屋根を掛けたアプローチ・玄関部分が、オーバーハングになった壁へ斜めに伐りこんで行く造形が 単調なことの多いこの種の宿泊施設の入口部分の造形として評価できる。建築の各所より内浦の景観を眺望する機能が考慮されている。外部、内部の色彩計画にも配慮されている。

入 選 国研究成果活用プラザ石川

設計者：(株)エヌ・ティ・ティファシリティーズ 都市・建築設計本部

施工者：真柄 + 兼六 + 松浦特定建設工事共同企業体



南面する廊下に沿って試験研究室を並べ、廊下の反対側に事務諸室をファサードから突出した形で配置するプランニングが明快である。南面はガラスカーテンウォール、北面は研究室のパイプシャフトスペースの箱状壁を並べた構成の対比的なファサード構成が成功している。多様な研究に対応すべく考慮された設備計画が優れている。